



# 經濟上より見たる道路

理事  
臺灣電力株式會社社長

松木幹一郎

## ○長安への距離

支那の或る書に『日と長安とは何づれが遠いか』といふ問答が載つて居る、長安といふのは御承知の通り支那の盛んな時分の都であつて、當時は立派な道が長く續いて居たのである、故に「日と長安と何方が遠いか?」といふ問に對し答者は「日は目前に見へるが長安は容易に見るを得ぬから長

安の方が遠い」と答へたといふことである。是は今から考へると誠に馬鹿氣たやうなことであるが併かしながら面積の廣大な支那に於ては、長安といふ首府までは極めて遠いところであるといふ感じは有つたこと、想像されるのである。斯様な支那でさへ王者の権力が盛んであつた時代は、絢爛たる文化の發達を見、道路の如きも大動脈より小動脈へと立派なる道が通じて居たのである。それは今日でも尙諸所に於て其遺跡を見ることが出来るのである。

### ○天下の大道は羅馬に通ず

ローマ全盛の時代は諸國を征服して之に兵隊を派遣する爲め、或は各國入貢の爲めに路面も線形も非常に立派な道路が諸方より羅馬の都へ通じて居たのである。ローマでも支那でも昔文明が大變進んで居つた時分は其時代相當に立派な道路が築造されて居たのであるが、支那の君主專制政治は始終盛衰興亡があつて、國衰ふれば道路の維持を忽にし、國盛んなれば道路整備し、國亡ぶれば道路廢滅に歸す」と常に都筑幹事が譬に説べるやうに、今では僅かに其の殘骸を知るに過ぎぬ状態である。歴史上斯くの如く榮へたる時代或はまた衰退したる時代が外國にも日本にも幾變遷をして居る、殊に我國に在りては封建政治の鎖國時代には交通に對し最も消極的な政策を採つて居たのである。諸所に關所を設けて交通を阻害して居つた如きは其一例であつて寧ろ交通の不十分な事を以て政治が安全に行はれるものとして居たのである。

## ○路線の形状

往時の路線について見るに其の藩々により多少の相違はあるにしても、自分の藩の中だけは非常に道路及び其維持等に意を注いで線形の如きも實に立派に築設されて居たのであるが、一步隣國への連絡に至つては甚だしく之を嫌つて居つた、例へば舊藩の城下街等を見ると實によく判かる、その幹線道路が街の入口より出口へ直ぐなものは殆んど無かつたのである。昔の都市計畫では必らず街路に屈曲を作ること、甚しきに至りては電光形等を以て故さら見徹しの付かざるやうに設計してある、之れは當時の攻防懸引等より考察して築造された關係もあるが交通が餘り自由になれば政治が仕悪いと考慮した點も有るのである。然るに我國も王政維新後既に數十年を閲し諸般の施設も亦備はりたる今日昔の如き鎖國状態ではならぬ、國際列強の一員として列國と對立し相活躍して行かねばならぬ。

## ○生活状態の推移

昔は大抵自分の國の内で作つたものを食し、自分の國で製した衣類を着、自分の國に育つた所の材木を以て家屋を築造し、衣食住を顧慮する要はなかつたのであるが、現時では如何？ 織物の素を成す所の棉花は多く印度または亞米利加より輸入される、我國で棉花を栽培しては收支償はず、且領土狭少のため殆んど作らぬ、それで印度又はアメリカより買入れた所の棉花を加工して輸出品を作つ

て居るけれども尙其大多數は我國で使つて居る、次に米に就て見るに若し萬一不作等の場合には五百萬石六百萬石といふ米が日本の内で不足するのである、朝鮮や臺灣は其點は頗る都合が宜しい、朝鮮人は粟又は近來は外米を食つて自分の作つた米は値段をよくして賣つて居る、日本内地では此の朝鮮米並に臺灣米の移入以外にランゲンとかサイゴンとか或は加州米とか米の澤山出来る所から所謂外米を輸入して色々調節して居るのである。

### ○物資輸出の關係

次に彼の小麦粉は如何かといふに之も北滿或はアメリカ等より入り來り、牛肉の如きも鮮滿青島濠洲等より木材は日本材が一番良質である、何分値段が高價につくので、品質は劣るが澤山あるアメリカ材を輸入して居る、シベリア材や鴨綠江の奥地に産する材木も亦輸入されてゐる。製紙の原料に要する木材も北海道や樺太では間に合はぬといふので露西亞から、また人絹バルブの材料としては加奈太や合衆國邊りから輸入して居るといふ風に、衣食住の總て即ち國民生活の必需品は内外有無相通じて行はれる時代となつたのである。

### ○貿易決済と興業

輸出の方に就て見るに蠶絲或は絹織物等昨年は大體六億五千萬圓餘といふことである、而して我國の貿易額は凡そ二十四億といふ見當であつて、輸入の大なるはアメリカや印度等から來る棉花の

十億圓であつて、米其他の食料品が三億圓、鐵が一億圓位である。併かし何分輸出より輸入が勝つて居るのであるから、是非國內の産業を起して輸出を大ならしめねばならぬ、然らざれば我國は益々借金國として貿易上の決済も益々不利に陥る、彼の歐州大戰の際に一時輸出の方が増大した爲めに二十億餘りの正貨が日本に流入し、信用も國光と共に揚がつたが、其の好景氣も直ちに逆轉して大戰終了後また輸入が増加し、輸出は減少して正貨流出が氣遣はれ、嘗て衆議院に於ては經濟國難といふ決議案まで出たやうな次第である。

### ○名論卓説より實行

今日の事情は昔日の如き自給自足に依つて行く時代ではない、産業の振興を圖らねばならぬ、併しながら衣食住に要する諸物資は勿論、國防に關する諸必需品等購入を要するものが決して尠くない、若し買はないで堂々と立つて行ければ誠に仕合せであるが、現在の實情は之を許されぬ、それ等の必需品を購入せず數年経過せば五等國か六等國になり、哀れな状態となるであらう。故に往時の藩政時代のやうな奥州は奥州、關東は關東、或は關西は關西といふ風に利害相省みず、彼等は彼等、此地は此地といふやうなことはもう出来なくなつたのである、日本といふ國が恰かも一人の人間の身體のやうに——頭と足は違ひ、また手と胸は異なるけれ共、之が一體をなして一つの有機體の如く各々その働きをして頭から足の先まで血が通つて活動して居る人の身體のやうにならねばならぬ時代となつたのである。故に産業を振興することより外には如何なる學者論客が出で如何なる經濟の名人

が現はれても到底出來難い相談である。

### ○道路の整備は興國の礎

我國の如く原料の少ない所では成べく其の原料をよく消化する方法に依つて生産費を低廉にし、信用ある品を海外市場に輸送せねばならぬ。生産費を安價にするには第一交通を便利ならしめて諸経費を低下しまた出來上り品の運搬や原料の運送費等を少なからしめ工場と市場間の連絡交通等に注意する時は経費は節約され運搬は速かに出來るのみならず損傷等も減少され至大の利得となるのである。彼の産業先進國たるアメリカやイギリス、または獨逸佛蘭西伊太利等を見るに前記用途の爲めに道路を改良し盛んに自動車を用いて居るのである、産業の發展と經濟關係とは所謂手の兩面のやうなものであつて、離すことの出來ない同身一體のものである。而して道路交通の改良は産業を興起せしむる基礎的要件であつて、國家を繁榮ならしむるには國民が頻繁に便利に活動出來るやうにしなければならぬ。彼の米國に於ける自動車の數を見るに遙かに世界の群を抜き、貨物自動車、乗合自動車の輛數設備距離等に於ても亦非常なる發達を示し之を自由に活動せしむる道路の如きも其施設規模頗る大がかりであるが、産業の振展、富の築造に對する第一要素であるから道路施設の資金に異議のあつたことは無い、歐州に於ては勿論最近は支那に於ても此の實物教訓に刺戟されて各地に道路の改良が起つて來て居ることは舊臘内田副會長の支那視察談にもある通りである、即ち經濟立國の爲めには道路整備が最も緊急なる施設たることを痛切に感ずる次第である。